

- \*年金の受給資格期間を 25 年から 10 年に短縮せよ
- \*基礎年金の国庫負担分については、3.3 万円を 65 歳以上のすべての人に支給せよ
- \*「消えた年金記録」は、一人の犠牲者も出さず解決せよ
- \*年金引き下げを、年金 2.5%の引き下げに反対する
- \*マクロ経済スライドを廃止せよ

双子姉妹「きんさん、ぎんさん」のぎんさん（享年 108 歳）

その娘 4 人が、どえりゃあ元気。98 歳,93 歳,91 歳,88 歳は近所に住んでいて、姉妹の名古屋弁の会話・・・

「こんなに長生きするとは思ってらんかったなあ」「おばあさん（ぎんさん）に似て、みーんな頑固だて、元気なんだわ」「ほうよ。あんたも最近、頑固になった。老人の反抗期が始まったわ」

（東京新聞 6 月 16 日夕刊から）

元気な 4 姉妹万歳ですが、「頑固な反抗期の老人」としてわが身と身辺の人々を振り返り、ちょっと苦笑というところです。

10 万人の組合員は、日常活動に奮闘するなかで、高齢者の生活実態の目撃者となっています。たくさんの相談・質問・意見をいただきました。

質問にお答えします。

**Q,日本の高齢化はどうなっていますか。**

A,「2012 年版高齢社会白書」によると、

- \* 2011 年 10 月 1 日現在で、65 歳以上の高齢者は 2.975 万人（前年比 50 万人増）総人口に占める割合は 23.3%（0.3%増）です。
- \* 2060 年には高齢化率は 39.9%になり、10 人に 4 人は 65 歳以上となる社会の到来を予想しています。
- \* 高齢者が意欲と能力に応じ、労働市場や社会活動に参加できる社会の実現が必要だが、現状は高齢者の高い就業継続意欲が、実際の就業に結びついていないと指摘しています。

世界最高の高齢化が進むなか、高齢者の雇用と公的年金制度の改善・充実は待ったなしのときを迎えています。

**Q, 共済年金と厚生年金を一本化することをどう考えますか**

A, 恩給制度を引き継いだ共済年金には、厚生年金より有利な点がいくつかあります。今回の案は、厚生年金に揃える、つまり低い水準に揃えるという提案です。

それぞれが長い歴史をもつ制度ですから、多くの受給者・加入者に影響します。一本化には慎重さが必要です。

共済年金と厚生年金との相違点については、単純に「厚生年金に揃える」のではなく、「どちらが公的年金制度としてあるべき姿か」という視点で検討すべきです。

\* 以上の2点を考慮し、単純に共済年金引き下げの手段にしないことを望みます。

**Q, 引き下げが、福祉手当は1.7%で年金は2.5%なのは何故ですか。**

A, 「各種福祉手当は1.7%下げる、年金は2.5%下げる」というのが、国の方針です。では、なぜ、「児童福祉手当や被爆者への手当などの各種福祉手当」と「年金」とで引き下げ率が違うのでしょうか。

以下、政府の言い分です。

「福祉手当」は物価スライドのみで行われるため、物価の上がり下がりだけで手当額が上がったり下がったりします。したがって、2000年から3年間、景気対策として年金を下げなかった分「1.7%」の引き下げになります。

「年金」は物価スライドに賃金スライドを組み合わせます。つまり、物価が上がっても賃金が上がらなければ、年金は上がらない仕組みになっています。

賃金スライドと物価スライドを組み合わせると、2007年物価0.3%上昇、賃金0%なので年金の上昇は0% (その差は $0.3 - 0 = 0.3\%$ )、2009年に物価1.4%上昇、賃金0.9%上昇なので年金の上昇は0.9% (その差 $1.4 - 0.9 = 0.5\%$ ) となります。この差 $0.3 + 0.5 = 0.8\%$ が、「 $1.7 + 0.8 = 2.5\%$ 」として引き下げになります。

賃金スライドは、賃金が下がり続けている状況では、年金の水準を下げ続けます。年金者組合として検討が必要です。

マクロ経済スライドについては、物価上昇時にのみ発動できることになっていますが、国は、法律を変えて物価下落時にも発動しようとしています。

年金水準を下げ続ける様々な仕組みを変えていくことが、喫緊の課題になっています。

\*\*\*\*\*

白書が、10人に4人が65歳という高齢社会を予想し、高齢者を労働力として位置づけようとしています。高齢者の働く意欲が生かされる国づくりも重要です。

\*\*\*\*\*

年金相談日は、毎週、火曜日と木曜日、午前11時から午後4時までです。

電話でのご相談は、03-5978-2751 FAXは、03-5978-2777

[E-mail/honbu@nenkinsha-u.org](mailto:honbu@nenkinsha-u.org)

相談・質問・意見をお待ちしています。 年金相談室 阿久津嘉子